



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 豊田通商株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 8015 URL <https://www.toyota-tsusho.com/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 貸谷 伊知郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 力 TEL 052-584-5482  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業活動に係る利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,367,402	27.5	316,195	39.1	353,840	35.6	260,220	30.5	235,428	30.6	334,081	37.7
2022年3月期第3四半期	5,776,713	29.9	227,265	58.5	261,029	73.9	199,473	90.9	180,271	101.7	242,568	22.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	669.10	-
2022年3月期第3四半期	512.36	-

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,515,892	2,005,296	1,854,336	28.5
2022年3月期	6,143,125	1,942,860	1,735,011	28.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	70.00	-	90.00	160.00
2023年3月期	-	96.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	96.00	192.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	円 銭
通期	270,000	21.5	767.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	354,056,516株	2022年3月期	354,056,516株
2023年3月期3Q	2,191,999株	2022年3月期	2,210,755株
2023年3月期3Q	351,858,212株	2022年3月期3Q	351,843,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、2023年2月3日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①経営環境

当第3四半期連結累計期間の世界経済を概観しますと、先進国を中心にインフレが高進し、急速な金融引き締めや中国のゼロコロナ政策等の影響により、景気後退懸念が高まりました。

米国経済は、堅調な雇用環境やコロナ禍で積みあがった貯蓄等が、個人消費を支えましたが、長引くインフレや金融引き締めの影響により需要が減退し、景気の回復ペースは鈍化しました。欧州経済は、資源価格高騰の一服や供給制約緩和等による製造業の回復が景気を支えするも、物価上昇等が消費の抑制に繋がり、景気は減速基調となりました。中国経済は、行動制限強化等の影響による消費の落ち込みや不動産市場の低迷が継続した事に加え、欧米経済の減速に伴い輸出も減少となり、経済成長鈍化の懸念が高まりました。また、ゼロコロナ政策の大幅な緩和による感染再燃が景気回復への重石となりました。新興国経済は、経済活動再開、供給制約の緩和等により製造業や個人消費が持ち直し、景気は回復基調となった一方で、外需の減速が景気回復の重石となりました。

こうした中、わが国経済は、物価上昇等が重石となったものの、入国規制の緩和や旅行支援策等の影響により、サービスを中心に個人消費等が堅調となり、景気は緩やかに回復しました。一方で、日銀は長年継続してきた金融緩和の姿勢を転換し、景気の先行き不透明感が強まりました。

#### ②セグメント別の事業活動

##### (I) 金属

豊通リチウム株式会社が福島県楢葉町に建設を進めていた、国内初となる水酸化リチウムの製造工場が、2022年11月に竣工しました。電動車普及の加速やバッテリー性能の向上に伴い、これまで以上に需要が見込まれる水酸化リチウムを高品質かつ安定的に供給する事で、カーボンニュートラルに貢献するとともに、本事業を通じて地域経済の活性化や東日本大震災の被災地域の産業復興にも貢献していきます。

##### (II) グローバル部品・ロジスティクス

株式会社Resilireと協業し、同社が開発したサプライチェーンの可視化・リスク管理サービスと当社の物流に関するオンラインプラットフォーム「Streams (ストリームス)」を組み合わせ、リスク対策に向けた一気通貫サービスの提供を、2022年11月より開始しました。DX推進を通じてお客様のサプライチェーンの強靱化及び事業継続計画強化に貢献していきます。

##### (III) 自動車

カンボジアにおいて、車両組立事業会社であるToyota Tsusho Manufacturing (Cambodia) Co., Ltd. を2022年8月に設立しました。本事業は、同年11月にカンボジア政府と当社が締結した「自動車産業の発展に向けた協業に関するMOU (覚書)」に基づく取組みであり、同国の自動車産業と経済及び社会の発展に貢献していきます。

##### (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

インドネシアのブカシ県において、ASEAN域内相互承認協定に基づいた国際基準に対応するASEAN初の自動車認証試験場の設計、建設、保守事業を行う事を目的に、2022年10月に株式会社海外交通・都市開発事業支援機構 (JOIN) 及び現地パートナーと共に事業会社を設立しました。2025年2月の試験場完工を目指し、同国の自動車産業の活性化と国際競争力の向上に貢献していきます。

##### (V) 化学品・エレクトロニクス

ペットボトルの水平リサイクルを目的に、2022年10月に豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社が滋賀県にて工場を本格稼働しました。また同月、Car to Carのリサイクル実現を目的に、当社が出資している株式会社プラニックが静岡県にて御前崎工場を本格稼働しました。両社のリサイクル事業を通じて、サーキュラーエコノミー (循環型経済) への移行を加速していきます。

##### (VI) 食料・生活産業

インド国内において病院向けリネンサプライ等の高品質な医療周辺サービスを提供する事を目的に、株式会社トーカイと設立したValabhi Hospital Services Private Limitedが2022年11月から営業を開始しました。より安心・安全な医療の提供と地域医療の発展に貢献できるよう、新しいリネンサプライの事業モデル構築と高品質な医療周辺サービスの提供を推進していきます。

##### (VII) アフリカ

当社グループのCFAO SASはアフリカでヘルスケア分野のスタートアップ投資に特化した投資会社Health54 SASを設立しました。2022年10月に、第1号案件として、ナイジェリアで小売り薬局チェーン運営や、約600の病院・薬局向けにオンラインで医薬品販売を手掛けるLifestores Healthcareへ出資しました。「WITH AFRICA FOR AFRICA」という理念のもと、アフリカの人々の健康への一層の貢献を目指し、ヘルスケア事業を強化していきます。

## ③当四半期連結累計期間の経営成績

当社グループの当第3四半期連結累計期間の収益は、自動車販売の増加、金属等の市況及び欧州電力価格上昇により、前年同四半期連結累計期間を1兆5,907億円(27.5%)上回る7兆3,674億円となりました。

利益につきましては、営業活動に係る利益は販売費及び一般管理費の増加の一方で、売上総利益の増加により、前年同四半期連結累計期間を889億円(39.1%)上回る3,161億円となりました。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は前期一過性利益の影響があったものの営業活動に係る利益の増加に加え、持分法投資損益の増加等により、前年同四半期連結累計期間を552億円(30.6%)上回る2,354億円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## (I) 金属

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、前期一過性利益の影響があったものの、市況上昇及び豪亜における自動車生産関連の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を26億円(4.2%)上回る639億円となりました。

## (II) グローバル部品・ロジスティクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、北米、欧州及び豪亜における自動車部品の取り扱い増加等により前年同四半期連結累計期間を82億円(44.6%)上回る265億円となりました。

## (III) 自動車

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、豪亜を中心とした海外自動車販売会社の取扱台数増加等により、前年同四半期連結累計期間を160億円(75.1%)上回る373億円となりました。

## (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、前期一過性利益の影響及び当期電力事業における一過性損失があったものの、欧州電力価格の上昇等により、前年同四半期連結累計期間を105億円(62.0%)上回る274億円となりました。

## (V) 化学品・エレクトロニクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、エレクトロニクス事業の取り扱い増加及び化学品事業における市況の上昇等により、前年同四半期連結累計期間を64億円(19.7%)上回る391億円となりました。

## (VI) 食料・生活産業

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、南米食料事業における輸送費負担増加があるものの、国内生活産業事業の一過性利益等により、前年同四半期連結累計期間を13億円(18.4%)上回る83億円となりました。

## (VII) アフリカ

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、自動車販売会社の取扱台数増加等により、前年同四半期連結累計期間を116億円(52.3%)上回る337億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、棚卸資産で1,633億円、現金及び現金同等物で1,457億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,727億円増加の6兆5,158億円となりました。また、資本につきましては、四半期利益(親会社の所有者に帰属)等により利益剰余金が1,755億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ624億円増加の2兆52億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月28日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	653,013	798,725
営業債権及びその他の債権	1,797,084	1,711,029
その他の金融資産	154,700	144,427
棚卸資産	1,161,022	1,324,399
その他の流動資産	188,289	218,532
小計	3,954,111	4,197,115
売却目的で保有する資産	4,276	—
流動資産合計	3,958,387	4,197,115
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	273,993	321,765
その他の投資	622,537	597,040
営業債権及びその他の債権	40,195	43,297
その他の金融資産	37,213	51,238
有形固定資産	941,880	1,024,684
無形資産	182,155	187,130
投資不動産	18,854	18,613
繰延税金資産	27,073	32,338
その他の非流動資産	40,833	42,668
非流動資産合計	2,184,737	2,318,777
資産合計	6,143,125	6,515,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本の部		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,704,376	1,588,634
社債及び借入金	740,936	1,000,822
その他の金融負債	69,504	31,120
未払法人税等	31,551	47,889
引当金	6,831	7,885
その他の流動負債	173,082	197,783
流動負債合計	2,726,283	2,874,135
非流動負債		
社債及び借入金	1,115,728	1,260,357
営業債務及びその他の債務	86,088	95,490
その他の金融負債	16,784	8,017
退職給付に係る負債	44,361	44,784
引当金	46,810	49,481
繰延税金負債	113,279	117,379
その他の非流動負債	50,928	60,948
非流動負債合計	1,473,981	1,636,460
負債合計	4,200,265	4,510,595
資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	156,047	43,504
自己株式	△3,769	△3,746
その他の資本の構成要素	217,444	273,805
利益剰余金	1,300,352	1,475,837
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,735,011	1,854,336
非支配持分	207,848	150,959
資本合計	1,942,860	2,005,296
負債及び資本合計	6,143,125	6,515,892

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
収益		
商品販売に係る収益	5,664,145	7,224,902
サービス及びその他の販売に係る収益	112,568	142,499
収益合計	5,776,713	7,367,402
原価	△5,218,207	△6,631,998
売上総利益	558,505	735,403
販売費及び一般管理費	△325,660	△390,651
その他の収益・費用		
固定資産処分損益	221	1,297
固定資産減損損失	△2,963	△2,459
その他	△2,836	△27,394
その他の収益・費用合計	△5,579	△28,556
営業活動に係る利益	227,265	316,195
金融収益及び金融費用		
受取利息	6,363	15,345
支払利息	△19,310	△32,914
受取配当金	16,200	21,199
その他	12,794	△153
金融収益及び金融費用合計	16,047	3,476
持分法による投資損益	17,715	34,168
税引前四半期利益	261,029	353,840
法人所得税費用	△61,555	△93,619
四半期利益	199,473	260,220
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	180,271	235,428
非支配持分	19,202	24,792
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）		
基本的1株当たり四半期利益（円）	512.36	669.10
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	—	—



## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	199,473	260,220
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	381	1,405
FVTOCIの金融資産	884	△15,842
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	233	△666
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	6,269	23,323
在外営業活動体の換算差額	29,339	50,886
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	5,984	14,754
税引後その他の包括利益	43,094	73,860
四半期包括利益	242,568	334,081
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	219,040	297,330
非支配持分	23,527	36,750

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額		
期首残高	64,936	147,128	△3,760	—	291,447	△3,283	△152,137	136,026	
四半期利益									
その他の包括利益									
確定給付制度の再測定				541				541	
FVTOCIの金融資産					764			764	
キャッシュ・フロー・ヘッジ						6,997		6,997	
在外営業活動体の換算差額							30,465	30,465	
四半期包括利益	—	—	—	541	764	6,997	30,465	38,768	
配当金									
自己株式の取得及び処分等		52	△4						
非支配持分の取得及び処分		8,332							
利益剰余金への振替				△541	1,600			1,059	
その他									
所有者との取引額合計	—	8,384	△4	△541	1,600	—	—	1,059	
四半期末残高	64,936	155,512	△3,764	—	293,812	3,713	△121,671	175,854	

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	1,125,326	1,469,657	188,358	1,658,015
四半期利益	180,271	180,271	19,202	199,473
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		541	0	541
FVTOCIの金融資産		764	194	958
キャッシュ・フロー・ヘッジ		6,997	651	7,648
在外営業活動体の換算差額		30,465	3,479	33,945
四半期包括利益	180,271	219,040	23,527	242,568
配当金	△46,471	△46,471	△12,276	△58,747
自己株式の取得及び処分等		48		48
非支配持分の取得及び処分		8,332	△7,250	1,081
利益剰余金への振替	△1,059	—		—
その他	△79	△79	14	△65
所有者との取引額合計	△47,610	△38,170	△19,511	△57,682
四半期末残高	1,257,987	1,650,526	192,374	1,842,901

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	156,047	△3,769	—	280,549	2,084	△65,190	217,444
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				1,370				1,370
FVTOCIの金融資産					△16,060			△16,060
キャッシュ・フロー・ヘッジ						22,497		22,497
在外営業活動体の換算差額							54,093	54,093
四半期包括利益	—	—	—	1,370	△16,060	22,497	54,093	61,902
配当金								
自己株式の取得及び処分等		55	22					
非支配持分の取得及び処分		△112,598						
利益剰余金への振替				△1,370	△4,170			△5,541
その他								
所有者との取引額合計	—	△112,543	22	△1,370	△4,170	—	—	△5,541
四半期末残高	64,936	43,504	△3,746	—	260,318	24,582	△11,096	273,805

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	1,300,352	1,735,011	207,848	1,942,860
四半期利益	235,428	235,428	24,792	260,220
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		1,370	△4	1,365
FVTOCIの金融資産		△16,060	△410	△16,470
キャッシュ・フロー・ヘッジ		22,497	4,266	26,763
在外営業活動体の換算差額		54,093	8,107	62,200
四半期包括利益	235,428	297,330	36,750	334,081
配当金	△65,485	△65,485	△18,069	△83,554
自己株式の取得及び処分等		77		77
非支配持分の取得及び処分		△112,598	△75,259	△187,857
利益剰余金への振替	5,541	—		—
その他			△310	△310
所有者との取引額合計	△59,943	△178,005	△93,639	△271,644
四半期末残高	1,475,837	1,854,336	150,959	2,005,296

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	261,029	353,840
減価償却費及び償却費	81,502	97,419
固定資産減損損失	2,963	2,459
金融収益及び金融費用	△16,047	△3,476
持分法による投資損益 (△は益)	△17,715	△34,168
固定資産処分損益 (△は益)	△221	△1,297
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△136,046	139,447
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△236,014	△111,258
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	174,739	△163,109
その他	△30,520	△37,027
小計	83,667	242,829
利息の受取額	5,816	13,626
配当金の受取額	31,406	43,379
利息の支払額	△17,211	△29,103
法人所得税の支払額	△71,033	△90,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,645	180,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	2,256	5,217
有形固定資産の取得による支出	△99,152	△108,263
有形固定資産の売却による収入	7,035	10,630
無形資産の取得による支出	△27,242	△15,249
無形資産の売却による収入	182	30
投資不動産の取得による支出	△423	△32
投資の取得による支出	△15,953	△10,291
投資の売却等による収入	2,027	9,947
子会社の取得による収支 (△は支出)	△609	△4,556
子会社の売却による収支 (△は支出)	92	7,201
貸付けによる支出	△3,703	△6,935
貸付金の回収による収入	3,382	5,745
補助金による収入	9,150	8,889
その他	2,555	△943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,401	△98,608

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	129,410	228,225
長期借入れによる収入	91,817	211,119
長期借入金の返済による支出	△51,718	△113,606
社債の発行による収入	10,000	15,000
社債の償還による支出	△30,000	—
自己株式の取得による支出	△26	△16
配当金の支払額	△46,471	△65,485
非支配持分株主への配当金の支払額	△12,276	△18,069
非支配持分株主からの払込みによる収入	1,012	1,137
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△509	△189,386
非支配持分株主への子会社持分売却による収入	3	156
その他	△21,055	△21,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,185	47,561
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,571	129,587
現金及び現金同等物の期首残高	677,478	653,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,934	16,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	670,841	798,725

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの収益、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	1,512,771	670,969	503,588	501,842	1,391,660	357,865
セグメント間収益	2,172	22,887	992	3,014	3,324	402
計	1,514,943	693,857	504,581	504,857	1,394,984	358,267
売上総利益	99,816	60,311	70,064	50,217	99,064	35,963
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	61,382	18,360	21,328	16,948	32,726	7,046
セグメント資産	1,303,200	539,303	327,562	866,578	889,299	334,411

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	834,540	5,773,237	3,475	—	5,776,713
セグメント間収益	88	32,882	2,511	△35,394	—
計	834,628	5,806,120	5,986	△35,394	5,776,713
売上総利益	146,057	561,494	△533	△2,455	558,505
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	22,180	179,974	303	△6	180,271
セグメント資産	650,912	4,911,268	1,176,652	△324,356	5,763,564

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。

2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。

4. アフリカセグメントにおける外部収益は主として自動車事業(車両や産業機械の流通・販売等)、次いでヘルスケア事業(医薬品の製造及び卸売等)における顧客との契約から生じる収益で構成されています。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	2,060,085	880,070	622,934	617,622	1,595,748	561,278
セグメント間収益	3,245	22,815	4,505	3,849	4,475	378
計	2,063,331	902,885	627,440	621,472	1,600,224	561,657
売上総利益	125,896	82,496	102,104	78,790	125,505	35,613
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	63,942	26,543	37,345	27,459	39,184	8,344
セグメント資産	1,447,185	602,857	409,993	1,017,001	944,817	379,167

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	1,025,871	7,363,611	3,791	—	7,367,402
セグメント間収益	54	39,326	2,547	△41,873	—
計	1,025,925	7,402,937	6,338	△41,873	7,367,402
売上総利益	188,176	738,582	△421	△2,757	735,403
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	33,784	236,603	△1,317	142	235,428
セグメント資産	693,536	5,494,560	1,240,109	△218,777	6,515,892

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。
4. アフリカセグメントにおける外部収益は主として自動車事業(車両や産業機械の流通・販売等)、次いでヘルスケア事業(医薬品の製造及び卸売等)における顧客との契約から生じる収益で構成されています。

2023年3月期第3四半期連結決算概要〔IFRS〕

2023年2月3日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)	四半期推移	1Q	2Q	3Q
	売上総利益	2,390	2,443	2,519
	営業活動に係る利益	1,023	1,056	1,082
	親会社の所有者に 帰属する当期利益	748	764	841

連結経営成績	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
収益	57,767	73,674	+15,907	+27.5%
売上総利益	5,585	7,354	+1,769	+31.7%
販売費及び一般管理費	▲ 3,256	▲ 3,906	▲ 650	—
その他の収益・費用	▲ 55	▲ 285	▲ 230	—
営業活動に係る利益	2,272	3,161	+889	+39.1%
利息収支	▲ 129	▲ 175	▲ 46	—
受取配当金	162	211	+49	—
その他の金融収益・費用	127	▲ 1	▲ 128	—
持分法による投資損益	177	341	+164	—
税引前利益	2,610	3,538	+928	+35.6%
法人所得税費用	▲ 615	▲ 936	▲ 321	—
当期利益	1,994	2,602	+608	+30.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,802	2,354	+552	+30.6%
当期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	2,190	2,973	+783	+35.7%

主な増減要因
<p><b>【売上総利益】+1,769億円</b> 自動車販売の増加、金属等の市況及び欧州電力価格上昇により増益</p> <p><b>【営業活動に係る利益】+889億円</b> 販売費及び一般管理費の増加の一方で、売上総利益の増加により増益</p> <p><b>【親会社所有者帰属当期利益】+552億円</b> 前期一過性利益の影響があったものの営業活動に係る利益の増加に加え、持分法投資損益の増加等により増益</p>

連結財政状態	前期末	第3四半期末	前期末比	
			増減額	増減率
資産合計	61,431	65,158	+3,727	+6.1%
(流動資産)	39,583	41,971	+2,388	+6.0%
(非流動資産)	21,847	23,187	+1,340	+6.1%
資本合計	19,428	20,052	+624	+3.2%
有利子負債(NET)	12,382	15,067	+2,685	+21.7%
D E R (NET)	0.7	0.8	+0.1	

主な増減要因
<p><b>【流動資産】+2,388億円</b> ・棚卸資産 +1,633億円 ・現金及び現金同等物 +1,457億円 ・営業債権及びその他の債権 ▲860億円</p> <p><b>【非流動資産】+1,340億円</b> ・有形固定資産 +828億円 ・持分法で会計処理されている投資 +478億円</p> <p><b>【資本合計】+624億円</b> ・利益剰余金 +1,755億円 ・在外営業活動体の換算差額 +541億円 ・資本剰余金 ▲1,125億円 ・非支配持分 ▲569億円</p>

連結キャッシュ・フロー	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比
営業CF	326	1,806	+1,480
投資CF	▲ 1,204	▲ 986	+218
差引:フリーCF	▲ 878	820	+1,698
財務CF	701	475	▲ 226

当期の主な要因
<p><b>【営業CF】</b> 税引前四半期利益及び運転資本の増加による</p> <p><b>【投資CF】</b> 有形固定資産の取得による支出</p> <p><b>【財務CF】</b> 借入金の増加及び非支配株主からの子会社持分取得による支出</p>

本部別	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
金属	998	1,258	+260	+26.1%
グローバル部品・ロジスティクス	613	639	+26	+4.2%
自動車	700	1,021	+321	+45.7%
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	502	787	+285	+56.9%
化学品・エレクトロニクス	169	274	+105	+62.0%
食料・生活産業	990	1,255	+265	+26.7%
アフリカ	327	391	+64	+19.7%
合計	359	356	▲ 3	▲1.0%
	70	83	+13	+18.4%
	1,460	1,881	+421	+28.8%
	221	337	+116	+52.3%
	5,585	7,354	+1,769	+31.7%
	1,802	2,354	+552	+30.6%

当期利益(親会社帰属)の主な増減要因
前期一過性利益の影響があったものの、市況上昇及び豪亜における自動車生産関連の取り扱い増加等により増益
北米、欧州及び豪亜における自動車部品の取り扱い増加等により増益
豪亜を中心とした海外自動車販売会社の取扱台数増加等により増益
前期一過性利益の影響及び当期電力事業における一過性損失があったものの、欧州電力価格の上昇等により増益
エレクトロニクス事業の取り扱い増加及び化学品事業における市況の上昇等により増益
南米食料事業における輸送費負担増加があるものの、国内生活産業事業の一過性利益等により増益
自動車販売会社の取扱台数増加等により増益

連結業績予想	前期実績	当期予想 (10/28公表)	前期比		
			増減額	増減率	
本部別	金属	1,331	1,550	+219	+16.4%
	グローバル部品・ロジスティクス	729	730	+1	+0.0%
	自動車	814	1,050	+236	+28.9%
	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	256	330	+74	+28.8%
	化学品・エレクトロニクス	965	1,250	+285	+29.4%
	食料・生活産業	285	430	+145	+50.7%
	アフリカ	726	1,050	+324	+44.6%
		212	300	+88	+41.5%
		1,338	1,600	+262	+19.5%
		430	480	+50	+11.5%
全社	売上総利益	7,592	9,400	+1,808	+23.8%
	営業活動に係る利益	2,941	3,800	+859	+29.2%
	税引前利益	3,301	4,100	+799	+24.2%
	当期利益	2,486	3,100	+614	+24.7%
	親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,222	2,700	+478	+21.5%

1株当たり配当金	前期実績	当期予想 (10/28公表)	
中間	70円	96円	
年間	160円	192円 (予想)	
配当性向(連結)	25.3%	25.0% (予想)	
前提となる為替レート	前期実績	当期予想 (10/28公表)	
円/米ドル	112	140	
円/ユーロ	131	135	
主要指標推移	前年同期 (前期末)	第3四半期 累計期間	
為替	円/米ドル 平均	111	137
	円/米ドル 期末	(122)	133
金利	円/ユーロ 平均	131	141
	円/ユーロ 期末	(137)	141
金利	円TIBOR3M平均	0.06%	0.06%
	米ドルLIBOR3M平均	0.15%	3.02%
ドバイ原油(米ドル/bbl)	72	94	
シカゴコーン(セント/Bushel)	595	702	

※上段:売上総利益、下段:親会社の所有者に帰属する当期利益